

# 地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会

## 第2回 情報共有会合 議事概要

1. 日時：平成25年7月26日（金） 15時～17時00分

2. 場所：札幌第一合同庁舎10F 共用会議室2号

3. 出席者 26名

北海道開発局(6名)、北海道(2名)、札幌市(3名)、岩見沢市、江別市、北海道大学、日本測量協会北海道支部、北海道測量設計業協会、建設コンサルタンツ協会北海道支部、日本写真測量学会北海道支部、北海道GIS・GPS研究会(2名)、北海道GIS技術研究会、Digital北海道研究会(2名)、国土地理院北海道地方測量部(3名)

4. 議事

1) 人のネットワークづくり (3グループに分かれ、自己紹介)

2) 防災に関する取り組み報告

(1)～ほっかいどうの防災教育～

北海道危機対策局危機対策課 甲谷防災教育担当課長

(2)～G空間情報を用いた北海道の産学官連携による防災の取り組み～

北海道大学大学院文学研究科 橋本教授

3) 討論 (テーマ「防災について」) (グループ毎に)

- ・ 防災に関するこれまでの経験、情報共有すべき情報とは共有すべき情報のあり方等について

4) その他

- ・ 第3回情報共有会合の開催日時(案)
- ・ 次回のテーマについて

5. 配布資料

1) 事務局

- (1) 会議次第
- (2) イベントカレンダー
- (3) 第2回情報共有会合出席者名簿
- (4) 国土地理院公共測量等説明会の開催について

2) 取り組み報告資料

- (1) 甲谷課長 「ほっかいどうの防災教育 (道民みんなで作る災害に強い北海道)」
- (2) 橋本教授 「G空間情報を用いた北海道の産学官連携により防災の取り組み」

## 6. 議事概要

はじめに、実務者レベルの情報共有会合設置の目的の一つである産学官の人のネットワークづくりをめざし、出席者をA～Cグループにわけグループ内で一人2分程度の自己紹介を行った。

- ・第2回の議題テーマ「防災について」に関連する取り組み報告として、北海道総務部危機対策局危機対策課の甲谷課長より「ほっかいどうの防災教育」についてと、北海道大学大学院の橋本教授から「G空間情報を用いた北海道の産学官連携による防災の取り組み」について発表していただいた。

質疑で出席者から、1)日本海沿岸の津波堆積物調査で十分なデータが得られなかったことに関してと、2)ハザードマップ作成時に日本海側と太平洋側とで基盤情報の精度が異なるが問題とならないのかの質問が出された。津波堆積物調査に関する質問に関して、甲谷課長から津波浸水想定の見直しに繋がるデータが得られていないが、日本海沿岸は未解明な部分が多く、調査エリアの見直しや国が今年度から8年かけて実施する「日本海地震・津波調査プロジェクト」と連携しながら継続していく旨の説明がされた。また、基盤情報の精度については、橋本教授から、ハザードマップの縮尺によるが標高が5m程度の箇所では数十cm程度から1m程度の精度差があっても大きな問題とならない。むしろ、人が生活している位置情報が重要であり人物社会精度のレベルが問題である。との説明がされた。

- ・討論は、各グループ単位で、防災に関する知見や情報共有するデータのあり方、データ配信の手法等について議論を行い、各グループより議論概要の報告発表を行った。

### 1) Aグループ発表概要

- ・災害発生時の避難場所のデータについて、毎年データ更新する必要がある。

H24年度版はあるが、共有（公開）されていない。

- ・デジタル機器を活用し外国人観光客へもハザードマップや避難場所を周知する必要がある。（簡単に翻訳できる）

- ・電子国土 Web.NEXT で最新地形図と空中写真を重ねて表示できる機能を有効に活用すれば減災に役立つ。

### 2) Bグループ発表概要

- ・ハザードマップを一括集約し情報共有が重要。Jアラートとの共通性が重要

- ・グーグルマップのkml形式をスタンダードとするのか。グーグルがいつまで継続するか未定（地理院の電子国土で表示できる。）

- ・防災教育が重要であり、GISを意識させないため民官(産)サポートが鍵。

地域防災マスターの配置や育成が今後重要。

- ・釜石市の例からも語り継がれるものが重要。

### 3) Cグループ発表概要

- ・情報の共有化に優れたファイル形式を何にするかが大切  
情報共有のためシェープファイル→kml形式への変換

- ・情報共有のプラットフォームが重要であるが、誰がデータを管理するのか。  
防災センターの設立を検討すべき。(産学官から構成するセンターが望ましい。)
- ・人材の教育が重要  
GISのプロを育成し、プロ間の情報共有(ネットワークづくり)が大切になる。  
個人と行政の連携が重要

- ・事務局から

イベントカレンダー更新に係わる情報提供を依頼。

次回会合のテーマについては、9月の開催になることから異論がなければ今回に引き続いて「防災について\_2」としたい。次回開催日時の希望を伺うので、その際に次回のテーマについての意見や事務局への要望があれば添えていただきたい。また、会合終了後に、出席者での懇親会開催を企画したいので、併せてご意見を願います。

- ・最後に国土地理院北海道地方測量部次長の日下より、第2回の総括と引き続きの出席を願ひし、第2回の会合を終了した。